

令和4年能勢町議会1月会議報告

1月25日 開催

1月会議には、補正予算1件が提出され、全員賛成で可決されました。

◇令和3年度能勢町一般会計補正予算(第9号)

補正額 9,821万円

(主なもの)

・住民税非課税世帯等臨時特別給付金事業

9,821万円

予算常任委員会報告

3月9日 開催

委員長 平田 要

予算常任委員会に付託された「令和3年度能勢町一般会計補正予算(第10号)」及び「令和3年度能勢町一般会計補正予算(第11号)」については関連案件であり一括議題とし、委員会を開催し予算内容を審議しました。「令和3年度能勢町一般会計補正予算(第10号)」は討論の後、採決の結果、賛成多数で可決すべきものと決定しました。続いて、「令和3年度能勢町一般会計補正予算(第11号)」は、討論はなく、採決の結果、賛成多数で可決すべきものと決定しました。主な質疑応答は、次のとおりです。

問 年度途中で退職された職員がいた職場環境と、職員のメンタルケアについて問う。

答 担当課とヒアリングし人事配置をしている。職員には毎月の産業医による相談の機会を設けている。

問 コロナ禍が長引いている中の町支援策として実施された、新型コロナウイルス感染症対策商品券の交付状況と、事業者への支払いについて問う。

答 商品券の予算額4,850万円に対し、9,498冊の4,749万円相当を配布し、4,659万円、約98%の使用となっている。事業者への支払いについては2月末に終わっている。

問 当初予算では住民福祉のための予算化がされたが、コロナ禍で未執行となっている予算については不要額等として減額補正となっている。どの様に精査をしたのか。

答 必要な事業については実施し、コロナ禍の関係で実施できなかったものは代替え事業、実施時期等検討したが叶わなかったものについては不要額となり、財政担当課と事業課とヒアリングし適正に処理を行った。

続いて、「令和3年度能勢町国民健康保険特別会計補正予算(第2号)」を議題とし予算内容を審議しました。質疑、討論はなく、採決の結果、賛成多数で可決すべきものと決定しました。

次に、「令和3年度能勢町介護保険特別会計補正予算(第2号)」を議題とし予算内容を審議しました。居宅介護サービス給付費、要介護認定数、施設介護給付費等について質疑がありました。討論はなく、採決の結果、賛成多数で可決すべきものと決定しました。

引き続き、「令和3年度能勢町下水道事業特別会計補正予算(第1号)」を議題とし予算内容を審議しました。下水道接続率について質疑がありました。討論はなく、採決の結果、賛成多数で可決すべきものと決定しました。

◇令和3年度能勢町一般会計補正予算(第10号)

賛 否		原案可決								
井上加奈子	難波希美子	長尾 義和	大西 則宏	太田 祐介	岡本ひとし	中西 顕治	中植 昭彦	奥 久明	森田 則子	平田 要
○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	委員長

注:委員長は採決に加わりません。

【反対討論】奥 久明

職員の退職手当について前年度は退職手当基金から捻出しているが今回は新型コロナの影響で出た不用額から充当し、事業精査の答弁もなかった。一般財源内で処理できるのは理解するが住民の立場から見れば、不用額は繰越金や財政調整基金に積立て次年度の住民福祉向上のために使われるべきと考える。非課税世帯が多く新型コロナで生活に困っている住民は大変多いと考える。そのような中で住民が頼れるのはやはり行政であり、公助の在り方、行政がどのように住民を守るかを考えた時、このようなやり方での退職金手当の捻出には賛成しかねる反対する。

【賛成討論】岡本 ひとし

上程されている令和3年度一般会計補正予算(第10号)については、コロナ禍の中での事業執行が困難であった予算と理解する。しかし、次年度以降、同様の事業執行を行うには、十分な計画とマンパワーが必要不可欠であることを申し上げ、賛成の討論とする。